

## 2 基本フレーム

### (1) 作成の目的

和歌山県産業連関表は、和歌山県内の産業構造や各産業部門間の生産活動における相互依存の関係を、総合的に把握する統計であり、県経済の構造分析や行政諸施策の立案、各種経済事象による波及効果の測定等の基礎資料として利用することを目的に作成します。

なお、本県では昭和35年（1960年）表を初回として、昭和50年（1975年）表以降は概ね5年ごとに作成しており、今回の令和2年（2020年）表が11回目にあたります。

### (2) 対象期間・地域及び記録の時点

令和2年1月から12月までの1年間に和歌山県内で行われた財・サービスの生産活動や取引を対象とします。また、生産及び取引が実際になされた時点で記録する、発生主義を採用しています。

### (3) 取引基本表の形式

取引基本表は、前回平成27年表と同様、生産者価格評価による〔行〕商品×〔列〕商品（アクティビティ）の地域内競争移輸入型表です。

産業連関表の形式として、「地域内表」と「地域間表」の分類があります。前者は、特定の一地域内の生産活動を取り上げ、その投入・産出構造を中心に記録した表であり、他の地域との取引は移輸出入として一括で取り扱われます。これに対し、後者は複数地域の生産活動を取り上げ、地域内それぞれの投入・産出構造とともに地域相互間の取引を明示する表で、他地域との相互依存関係を明らかにできる利点があります。本県では、県内の産業間取引の把握が主目的であることや資料上の制約等から、地域内表を作成しています。

また、取引基本表には「競争移輸入型」と「非競争移輸入型」の別があり、当該表を作成する上で、移輸入をどのように扱うかにより区分されます。同種の商品について、県内産品と移輸入品を区別せず、一括して扱う場合は前者となります。これに対し、同種の商品であっても、県内産品と移輸入品を区別して扱う場合は後者となります。それぞれの表による分析には、次のような特徴があります。まず、競争移輸入型による分析は、県内産品と移輸入品の比率を商品ごとに一定と仮定するため、必ずしも現実の姿を正確に反映するものではなく、経済構造の現状分析には適しません。しかし、部門間の技術構造及び相互依存関係を良くとらえており、使用する投入係数も一定の比率であるため安定的となることから、産業連関分析では一般的に競争移輸入型が使用されます。一方、非競争移輸入型を使用した分析は、県内産品と移輸入品を実際の割合で区別して扱うため、その時点の産業構造の把握が的確で、現状の構造分析に適しています。ただし、同じ原材料等であっても、県内産品と移輸入品いずれを使用するかは流動的で投入係数が安定的とは言えず、将来予測に適さない場合があります。本県の取引基本表は、全国表に準じて「競争移輸入型」としています。

### (4) 価格評価

実際価格による生産者価格評価表とします。

価格は一般的に、「実際価格」と「統一価格」に分かれます。実際価格とは、実際に取引された価格に基づく評価方法であり、統一価格とは、取引先や取引形態にかかわらず単一に価格を別途設定する評価方法を指します。実体経済においては、たとえ同一の財や量であったとしても、地理的もしくは時期的な要因の他、需給や取引形態の相違等により左右され必ずしも、同一の価格で取引されるとは限らないことから、本県では経済取引の実態を考慮して実際価格で評価しています。

また、取引基本表における価格の捉え方は、「生産者価格」か「購入者価格」のいずれかが一般的です。両者は、財貨の取引に伴って価格に付加される流通コスト（商業マージン及び貨物運賃）の処理方法が異なり、前者がそれを含まない価格、後者がそれを含む価格です。本県では投入構造が安定し、分析に適する生産者価格により評価しています。

## (5) 輸出入品の価格評価

輸出品の価格は本船渡しに当たるFOB価格、輸入品の価格は商品流通前の価格にあたるCIF価格とします。輸出入品について、貿易統計における価格評価は輸出品がFOB価格、輸入品がCIF価格で評価されています。本県は生産者価格評価を採用しているため、輸出品価格に関して生産地から外航船までの輸送費を控除する等の変換処理を行っています。

## (6) 消費税の評価方法

消費税の評価方法は、各取引額に消費税額を含むグロス表示とします。なお、消費税の納税額は、粗付加価値部門の間接税に含めています。ただし、最終的に輸出される商品については、商社等が還付を受けるという実態に沿う形で、計上されていません。

## (7) 部門分類

部門の設定は全国表に準拠しており、基本表はアクティビティベース（生産活動単位）の分類による行445部門・列391部門の、商品×商品（アクティビティ）表となっています。

部門数の設定については、以下のとおりです。

	[行]	[列]	
基本分類	: 445	× 391	部門
統合小分類	: 188	× 188	部門
統合中分類	: 108	× 108	部門
統合大分類	: 37	× 37	部門

} 公表

上記に加えて、ひな形として13×13部門の表も公表しています。

## (8) 逆行列係数の型

逆行列係数については、以下の型とします。

$[I - (I - \hat{M}) A]^{-1}$  型 : 開放経済型逆行列係数

$(I - A)^{-1}$  型 : 閉鎖経済型逆行列係数

なお、文字表示の関係上、本県の一部資料では開放型の「 $\hat{\quad}$ 」を省略する場合があります。